三和苑装飾活動!!

ビフォー→アフター

～作業療法による、心身活性化の試み～

社会福祉法人　真光会
三和苑デイサービスセンター
副主任　泉　宣行　　看護師　川上　清美

事業所の概要

・熊本市西区県道小島高森線沿い、西区役所の近く。
・平成19年10月オープン、定員30名のデイサービス事業所。
・法人の理念「利用者との和」「地域との和」「職員の和」。
・家庭的な雰囲気の中、「笑い」の絶えないサービスによって心身の活性化を図り、在宅支援に繋げることを目標としている。

背景

三和苑デイサービスセンターも開設5年目を迎え、

- 施設内外の装飾にあまり変化がない
- 老朽化が進み、汚れや傷が目立ってきた

課題

そうだ！

装飾を利用者と一緒に行い、施設を変えよう！

目標設定

- もっと明るく、利用者がくつろぎ楽しめるような環境や空間、雰囲気作りをする
- 作業療法によって利用者の心身にどう変化があるのか観察し、その効果をケアに活かすよう取り組む

研究

装飾箇所の設定と目標

三和苑

ビフォ➡アフター

外壁
ここがどこかわかるようにする

玄関
気持ちよく施設に入っていただく

ホール・食堂

壁面に新幹線を走らせる

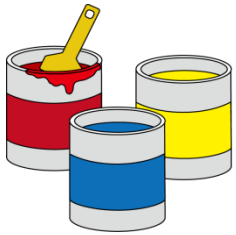
窓にはステンドグラスを飾る

風呂場
展望(眺め)
を良くする

廊下
昭和レトロの町並み
（昭和30年代の再現）
事務室
お手洗い

懐かしの時代へ

食堂
機能回復訓練室
介護サービスで
困っていませんか?
一人で悩まないで、
まずはお電話を
ください。
(096)214-1101



使用物品

総費用

約1万5000円

- ダンボール箱（多量）
- 色紙、のり、ガムテープ、両面テープ
- 絵の具、筆、ビニールロープ
- 墨汁、コピー用紙の裏（廃紙）
- ペンキ（白）、刷毛
- マジックペン、タマゴパック
- ペットボトルのキャップ（多量）
- 釘、かなづち、押しピン　・・・　等

実施する上での取決め

- 職員が利用者と一緒に作業を行う
- 作業の中で利用者の意見を取り入れる
- 作業を押し付けない
- 各個人の好みや能力に合った作業を行う
- 疲れたら休む(休憩を取る)、無理をさせない
- 他の利用者との交流を図る場とする
- 活動時間は15:00～15:50を主とする
  （作業したい人は個別に13時～からでもOK）

実施する上での取決め

- 参加は自由で強要しない ➡ 他の活動に参加

（カラオケ、TVゲーム、お話会、遊ビリ等）

- 他の活動も途中で終えて参加してもよい

基本＝自己選択
自己決定
自己遂行

作業風景

郵便
POST

500枚入

弁財天
布袋尊
キンカン
外モレ安心パッド
男女兼用
45枚×4

和苑デイサ

88,800

50710
45枚
4袋入
45枚×4袋入

事務所

インフル
カレー

三和苑

ビフォー➡アフター

評価

作業療法の進展状況

・作業開始当初（1～2ヵ月目）

制作活動に参加される利用者は全体の**1割程度**だった

残りの9割の方はどうしてしないの…

心
- 興味・関心がない
- 面倒くさい
- 自分は出来ない
- 疲れる
- 他の活動を楽しみたい
- おもしろくない

身
- 指がよく動かない
- 目がよく見えない
- 目が疲れる
- 手が震える
- 首や肩が凝る

先入観・自己限定・あきらめ

作業療法の進展状況

・作業開始から10ヵ月目（評価月）

制作活動に参加される利用者は全体の**９割**に及んだ

・残り1割・・・他の活動へ参加

心

- おもしろい
- 自分でも出来た
- あまり疲れない
- 集中力が出てきた

興味、関心が出てきた

身

- 首、肩の凝りも少ない
- 疲れたら休み負担が少なくなった

少し指が動くようになった

先入観・自己限定・あきらめの改善が図られた

作業過程での取り組み

自己認識の先入観、自己能力の改善

自分はできない、おもしろくない（自己限定）

取り組み

- その人に合った作業（簡単）の提供
- 無理をさせない
- 休憩（気分転換）を入れる
- 会話しながら楽しく行う
- 少しでもできたら誉める、称える
- 単調にならないよう違う作業の提供
- 少しずつレベルアップを図り
  意欲を引き出す

改善

自分でもできた
自己肯定（自信）

↓

楽しさ、喜び

↓

達成感、満足感

↓

心身の活性化

↓

介護予防

評価　事例①

中度の認知症あるKさん（81歳・男性）　週4回利用
午後より帰宅願望強くなり外に出られようとする

↓

貼り絵、塗り絵、組み立て作業等、一連の作業を任せることにより認識が高まり、帰宅欲が見られなくなった

認識・・・　自分の仕事、自分の役割の自覚
＝　**使命感を生む**

役割（使命）を与えることは、認知症進行の予防につながった　・・・　帰宅欲の消失

評価　事例②

・製作に全く関心が無かったSさん（96歳・女性）　週4回利用

開始当初の言葉

「できない」
「したくない」
「面倒くさい」
「してなんになる」

→

3ヵ月後の言葉

「私がするから
持っておいで」
（自発性）

どうして変わったの？

興味を示さなかったSさんの目の前で、コミュニケーションを図りながら制作活動をしていった。すると自然と興味を抱き、ちょっとしてみたところ反応があった

ちょっとして
みようかな
（動機づけ）

→

自分でもできた
おもしろかった
やればできる
（反応）

→

意欲の向上
自信
継続した作業へ